

旭山 現地の生物保護協力 マレーシアの州野生生物局と合意



【旭川】旭川市の旭山動物園は10日、ボルネオ島北部のマレーシア・サバ州野生生物局と、ボルネオの生物多様性保全に関する合意

調印後に握手する、左から坂東園長、西川将人旭川市長、アンブ局長

生物レスキューセンター設立の資金調達などに協力する。

合意書では、野生生物の保護や普及啓発に互いに協力することをうたい、レスキューセンターの設計や設立の

資金計画などで旭山が中心的な役割を果たすとした。職員の相互研修や、繁殖のための動物貸借なども行う。

調印式では坂東元・旭山動物園長とローレンシヤス・アンブ野生生物局長が合意書にサイン。坂東園長は「飼育動物のふるさと（日本と）の懸け橋に

なりたい」と話した。

坂東園長によると、ボルネオでは、やし油を採るための農場開発で熱帯雨林が減少。野

生生物はすみかを奪われ、農場に迷い込んで害獣扱いされるなどの影響が出ているという。